

トラック 48-2

昔々、或る人に子供が 4 人いた。子供をしつけるのが手に負えず、どうしていいかわからなかった。或る日、彼はもうどうしようもなくなり、自分が食べるものを料理しようと思ったが、どうすればいいかわからなかった。米が 1 キロあったが、彼は子供たちが食べないように夜まで待とうとした。それほど、子供を養うことが重荷になっていたのだ。彼は真夜中まで出かけていて、それから鍋を火にかけて、米を調理した。彼は皿を探したが見つからなかった。彼は言った。

「それにしても、皿はどこなんだ」。

子供のひとりが言った。

「ここだよ」。

それから彼はへらを探し始めたが、他の子供がそれを持って寝ているのを見つけた。彼は尋ねた。

「へらはどこだ？」。

「ここだよ」。

まったくもう、2 人目の子供が目を覚ました。そして 3 人目はスプーンを持っていた。

「スプーンはどこなんだ？」。

「ここだよ」。

そこで子供は 4 人とも目を覚まして、皆で一緒に食事を始めた。